

こがねいしこ けんり ひ 小金井市子どもの権利の日をつくります

こがねいしこでは、子どもの権利についてもっと知ってもらうために、11月20日を「子どもの権利の日」とします。

「子どもの権利の日」には、子どももおとなもいっしょに子どもの権利について、考えるイベントを行います。

こ けんり 子どもの権利ってなあに？

子どもの権利とは、「じぶんらしく幸せに、生まれたときからみんなが持っているあたりまえのもの」です。たとえば、学校で学ぶこと、おしゃれをすること、友達と遊ぶことも子どもの権利です。こまったときに周りの人に助けてもらえることも子どもの権利です。

こがねいしこ けんり かん じょうれい 小金井市子どもの権利に関する条例ってなあに？

こがねいしこが「子どもの権利を大切にする」ことを子どもにやくそくしたきまりです。2009年、多摩26市の中で一番最初に作りました。

たいせつ 大切な5つの権利



こ けんり ひ かんが 子どもの権利の日をみんなで考えました。

こがねいしこ けんり ひ こがねいしな い ちゅうがくせい あつま
「小金井市子どもの権利の日」をつくるにあたって、小金井市内の中学生が集ま
って、次のことを考えました。

① じぶんの意見を他の人に伝えるときどんな気持ちになるか。

② そのときにおとなや周りの人にどうしてほしいのか。

ちゅうがくせい かんが つぎ
中学生が考えたことを、次のイラストにまとめているので読んでください。

こ けんり ひ こ きもち 「子どもの権利の日」にこめた子どもの気持ち

みんな
ちがっていい



子どもはみんな、
かんがえも
すきなことも
ちがうよ。

いいたいけど

いいたいことある。
でも、ちゃんと
きいてもらえるかな



だから、きいてもら
えると、うれしい。
じぶんの気持ちを
いいたいくなる。

いっしょに

さいしょから
「できない」と
言わないで



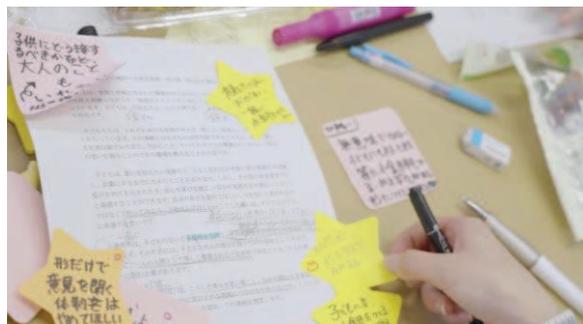
「いっしょに
かんがえよう」と
言ってほしい。

子どものこえ
とまち



子どものこえは、
まちの力になる。
11月20日は、
子どものけんりの日

ちゅうがくせい はな あ ようす 中学生たちの話し合いの様子



こがねいしこ けんり ひ せいてい じょうれい こ ぼん 小金井市子どもの権利の日を制定する条例（子ども版）

ぜんぶん 前文

子どもは、みんなちがう考え方、感じ方、得意なことや苦手なことをもっています。そのちがいは、とても自然なことであり、まちを楽しく、ゆたかにする力になります。子どもは、今を生きる一人の人間であり、未来をいっしょにつくる大切ないのちです。

子どもは、愛され、信じてもらえる人や場所の中で、自分らしさを大切にした行動をしながら成長していきます。ときにはまよったり、失敗したりすることもあります。が、まわりの人といっしょに歩むことで、のびていく力をもっています。

だからこそ、すべての子どもが大切にされ、安心して自分の気持ちを話せる場所をつくるのが大切です。

子どもは、「伝えたい」と思う気持ちと、「うまく言えるかな」と不安になる気持ちのどちらももっています。一方、話す機会があり、聞いてもらえたときには、安心して、うれしくなったりします。そして「自分の気持ちを大事にしているんだ」と思えるようになります。「できない」と言われるのではなく、「いっしょに考えよう」、「やってみよう」という気持ちで向き合ってもらいたい。これは、すべての子どもの思いです。

小金井市は、子どもの思いやちがいをいかし、その声をまちの力にしていきます。そのために、すべてのおとなは「子どもは守られるだけの存在ではなく、一人の人間として同じように大切にされるべきだ」ということを、もう一度心にしっかりと刻む必要があります。

「子どもの権利の日」は、すべての市民が、この考えを思い起こし、日々のかかわり方を見直し、子どもの声をきちんと受け止め確かな行動につなげるための日です。ここに小金井市は「子どもの権利の日」を定め、子どもの声を大切にする社会をめざして、この条例をつくりまします。

もくてき (目的)

第1条 この条例は、すべての子どもが、元気に、安心してくらせる小金井市をつくり、子どもの権利をもっと知ってもらい、広めるために、子どもの権利の日をつくりまします。

こ けんり ひ (子どもの権利の日)

第2条 小金井市では、11月20日を子どもの権利の日とします。

し (市がすること)

第3条 小金井市は、子どもの権利の日を中心に、子どもの権利について、みんなが学べるような取り組みをします。

(そのほかのこと)

第4条 この条例を進めるために、くわしいことは、市長が決めます。

さいごにこの条例は、決まった日から、すぐに始めます。